

令和4年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	1 子どもたちの教育について	<p>新型コロナウイルスの感染対策を巡り、飲食店への自粛要請などが緩和される中、なぜ多くの学校で「黙食」が続けられているのか。そもそも黙食は子どもたちにとって、好ましいことではない。感染症に注意しながら、緩めるところは緩めて、普通のことができるようにするのが本来の学校の姿ではないか。</p> <p>永岡桂子文部科学大臣も今月8日の会見で「必ずしも黙食を求めているわけではない。子どもたちの心身の健やかな成長の観点から、子ども同士での会話を認めている教育委員会もある」と述べた。</p> <p>(1) 子供の社会である学校。勉強だけでなく、他者とのコミュニケーションや遊びも兼ね備えた教育を取り戻す必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 文部科学省策定の今年4月改定の最新版「衛生管理マニュアル」をどう理解するかが重要である。学校の感染症対策の基となっているマニュアルには「黙食」という文言はない。その点はどうか認識しているか。</p> <p>(3) 自然あふれる本町独自の緩和が今後の子どもたちの教育面には必要不可欠だと考えるが見解を伺う。</p>	教育長
	2 子供たちの尊厳を守るについて	<p>学校教育においてマスク着用を強制的に実施しているのが現状である。その中、マスクの自由化を望む声を頂いている。「新型コロナに関する衛生管理マニュアル」には「体育（部活を含む）を除き原則マスク着用」と書かれているが、これは強制ではなく、教育委員会に対しては「お願い」と解釈している。そしてマスク着用が、新型コロナウイルスの感染拡大防止に効果があるという科学的根拠は存在しないということが、文科省により正式に回答されている。その事を踏まえ、着用したい子ども、着用したくない子ども双方の心の声にもっと耳を傾けていただきたい。</p> <p>(1) それぞれの学校の校長が本校はマスク着用は保護者や子どもたちの自由と宣言しても何も問題はないのではないか。</p> <p>(2) 学校側が子どもたちにマスク着用を推奨しても、それは義務ではなく強制力が伴わない「お願い」であると認識している。保護者が「子どもの健康被害を防ぐためマスクの着用は致しません」と宣言すれば拒否する権限は、学校にも教育委員会にもないと考えがどうか。</p> <p>(3) 子どもたちの尊厳が守られる学校だからこそ、保護者は安心して通学させることができる。同調圧力がない教育現場であることを望む保護者も多いがその点について伺う。</p>	教育長
	3 小児ワクチン接種について	<p>本町でも生後6ヶ月から4歳までのコロナワクチン接種が開始される。接種3回で1セット（1回0.2mL）大人の10分の1の量を3回。子どもの重症化リスクが非常に低い中、生後6ヶ月からの必要性を慎重に検討すべきと提言する専門家の意見もある。最近では少しづつではあるが地方メディアでも多くの副反応被害や死亡事例も報道されるようになってきている。</p> <p>(1) 今回、対象となる接種の予約状況を伺う。</p> <p>(2) 世の中の異変に気づく方々が増えている中、今後もファイザー社、モデルナ社のコロナワクチン接種は老若男女を問わず、慎重な対応が今後は必要だと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) ウイルスも弱毒化に向かっている中、当初は接種2回だったのが、接種回数をどんどん増やしているのはなぜなのか。</p>	町 長

令和4年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	4 安全保障について	<p>南西諸島の安全保障だが、たびたび軍事力を背景にした中国の海洋進出が強まってきている。台湾有事の件もあるが、南西諸島は米中が対立する軍事ラインである第1列島線と重なり、中国はこのラインを越える形で軍艦や潜水艦をたびたび通過させ、威嚇を繰り返している。中国の動きに対応し、防衛省は奄美大島、宮古島（沖縄県）にミサイル部隊を配備。本町も南西諸島に属しており、かつ自衛隊通信基地があることから、有事の際は非常に危険な場所になるのではないかと不安の声もある。</p> <p>(1) 本町では南西諸島安全保障についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 有事の際、避難場所（シェルター）等がない本町。可能性がゼロではない有事の際の町民の安全はどのように考えているか。</p> <p>(3) 政府側は国民保護法に基づいて約5万カ所の指定避難施設のうち地下施設は1200カ所余りだと明らかにした。本町でも町民の安全のため国県に要望を出し国防費等を活用して避難所等を整備するなどの対策を考えていく必要があるのではないか。</p>	町 長
倉橋 博都 議 員	1 消防団の退職年齢について	(1) 近年、消防団に入団する方が少なくなっている現状です。現在の、65歳から70歳ぐらいまで退職年齢を引上げられないか。	町 長
	2 志戸桶の液肥供給施設及び地力増進施設について	(1) 液肥供給施設は、今後どのように活用するのか。 (2) 地力増進施設は、今後どのように活用するのか。 (3) 施設の中は、雑木が生い茂って景観が悪いが今後どのように考えているのか。	
	3 各学校に製氷機は設置出来ないか	(1) 現在、子ども達は水筒を持参して登校しているが、町としてどのように感じているか。	教育長
米田 信也 議 員	1 スズメバチの調査駆除について	(1) 大朝戸のスズメバチの巣の発見によりまだ、スズメバチが活動していることが確認できた。今後、全島一斉調査を実施する考えがあるか伺う。 (2) トラップ調査について民間の協力をお願いするか伺う。 (3) 駆除において、住宅敷地内に関しては住民の負担になっているが今後補助や助成を行う事が可能か伺う。	町 長
	2 焼却灰最終処分場について	(1) 令和6年度、搬入開始に向けての工事の進捗状況を伺う。	
	3 公共交通機関のあり方について	(1) 深夜1時から朝7時までの間、公共交通機関の営業が無く交通難民と呼ばれる町民がいる事に対して町の考えを伺う。 (2) バス路線を令和4年10月5日から令和5年3月31日まで路線を変更し試験運行を行っているが、中央線無くすことに対する弊害が出ていると利用者から話が出ているが町の見解を伺う。	

令和4年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
野間 弘也 議 員	1 物価高騰支援給付金について	(1) 政府は電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し給付金を支給することとしている。しかし現在の物価高騰はさまざまな分野において急激な高騰となっており課税世帯においても大きな影響を受けている。また新型コロナウイルスの影響が和らぐなか物価高騰による消費低迷は町内業者へ大きなダメージとなり意欲を削ぎ不安を与えることになる。そのことから国の支援対象外の世帯へ町独自の支援を講じる必要があると考えるが見解を伺う。	町 長
	2 町民所得向上について	(1) 物価が高騰するなか町民生活の安定には根本である所得向上へ早急に取り組まなければならない。農業立島の本町では農業所得が飲食店、小売店などさまざまな業種に影響を与えるが町民所得が低迷しているのは農業者所得である。農業者の所得向上を図ることは町全体に大きく影響すると考える。そのためこれまでとは視点を変えた新たな取り組みで所得向上に取り組む必要があると考えるが見解を伺う。 ① 現場に直結した支援策を行い計画的に大胆な予算措置を行う必要があると考えるが見解を伺う。 (2) 経費削減の取り組みについて経費削減、作業効率向上を図る上で農地の集約化は大きな効果があると考え。本町が先進的に進めている適正な農地賃借契約の取り組みは農地の集約化へ取り組む際必須であると考え。適正な農地賃借契約の現状について進捗率、課題について伺う。	
	3 財政運営について	(1) 子育て支援の強化を図るため出産祝金、給食費無償化、子供医療費助成に取り組んでいる。町民から「ありがたい」と評価する声が多数ある。成果を残すためには事業を継続的に行う必要がある。また今後のハード面の整備では一般廃棄物処理施設、堆肥センター施設建設など多額の予算を必要とする事業の計画があることから事業展開へ向けての予算確保、財政運営について伺う。 ① 出産祝金など子育て支援事業にはふるさと寄附基金が充当されている。予算確保のためふるさと納税事業をどのように展開するのか伺う。 ② ふるさと納税以外にも自ら稼ぐ自治体に取り組む必要があると考える。今後の展開について伺う。 (2) 財政運営は定期的な検証、見直しを行うなど適切な措置を実施する必要があるとされている。そのことから伺う。 ① 子育て支援事業は子育て世帯の経済的負担軽減、出生数の増加、また子育てしやすい町として移住者の増加へ向けた取り組みと解釈している。具体的な目標について伺う。 ア 年間(年度)の出生数の目標について。 イ 年間(年度)の子育て移住世帯の目標について。	

令和4年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	1 京都帝国大学の喜界島民の遺骨持ち去りへの対応について	<p>(1) 1935年(昭和10年)京都帝国大学清野謙次研究室の三宅宗悦氏が喜界島で99体の遺骨を収集し持ち帰っている。</p> <p>清野謙次氏の「古代人骨の研究に基づく日本人種論」(岩波書店 1949年)によればその121ページに喜界島の収集目録が掲載されている。収集場所と遺骨の数は喜界村の中里1か所3体、赤連1か所9体、坂嶺(中熊?)1か所1体、大朝戸2か所25体、早町村は塩道2か所22体、小野澤(小野津?)1か所22体、蒲生2か所11体、花良治1か所6体である。全体で11カ所99体の遺骨が持ち去られ、未だ返還されていない。</p> <p>京都帝国大学の遺骨収集行為は合法、倫理的には問題がある。町はどのように認識されているかを伺う。</p> <p>(2) 私は、喜界島の先人らの尊厳を守るためにも、町が遺骨の返還を視野に、先ずは事実関係について京都大学に次の点を問い合わせるべきと考えるが如何か。</p> <p>① 喜界島住民のご遺骨はすべて貴博物館に所蔵されているか。</p> <p>② 仮に住民からご遺骨の返還を要請したいと申し出があった場合、そのことについて貴大学と協議できるか。</p>	町長
	2 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 9月以降、直近までの新型コロナ感染確認数及び無料PCR検査件数を伺う。</p> <p>① 新型コロナ感染確認数の月別、男女別人数。</p> <p>② PCR検査の月別、男女別人数、陽性者数。</p> <p>(2) 今後懸念される新型コロナ感染拡大とインフルエンザの同時流行に対する対策を伺う。</p>	
	3 マイナンバーカード等に関して	<p>(1) マイナンバーカード(マイナカード)について伺う</p> <p>① 直近の交付枚数、交付率。</p> <p>② 紛失、再発行枚数。</p> <p>③ 乳幼児、未就学児、認知症の方の発行や暗証番号の管理の実態は。</p> <p>④ 町民にとってのメリットは何か。実際に使われているか。</p> <p>⑤ このカードの原則は任意であり、かつ大切に保管することが制度の出発点であった。ところが、身分証や健康保険証との一体化が進み、今後は運転免許証との紐づけが予定されている。マイナカード持ち歩きが常態化になりつつある。このような変更は国民、町民の信頼を損なうものである。町はどのように認識されているか。</p> <p>⑥ マイナカードについては多額の税金を使い、さまざま特典を付与しているがいまだに交付率は低い。</p> <p>また、本年11月衆議院の内閣委員会で国家公務員の個人情報「紛失・盗難により、職員の氏名、住所、年齢等を所属省庁とともに把握できる」として内閣官房の一部、警察庁、公安調査庁、外務省及び防衛省について当該省庁が連名で身分証との一元化の適用除外を求めていることが明らかになっている。個人情報の流出を心配する国民の不安が裏付けられている。認識を伺う。</p>	

令和4年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	3 マイナンバーカード等に関して	<p>(2) マイナ保険証について伺う。</p> <p>① マイナ保険証の交付枚数、交付率。</p> <p>② 本町の医療機関・薬局のオンライン資格確認システム（カードリーダー設置）の導入状況。</p> <p>③ 本年4月からマイナ保険証を使って受診した場合、窓口での追加負担の仕組みが導入されている。これには国民の強い批判を受け、この10月から見直されている。現在、3割負担する患者の場合の初診、調剤の負担額をマイナ保険証と従来の紙保険証について伺う。</p> <p>④ 今使っている健康保険証を2024年秋に廃止、マイナカードに一本化する政府の方針について、各種世論調査で賛成、反対が拮抗している。また最大2万円分のポイントをつける申請は今月末が期限である。町民個々の判断を尊重すべきであるが認識を伺う。</p>	町長
	4 共同墓（納骨堂）について	(1) 町民の期待は高い。進捗と今後の予定を伺う。	
	5 野生シカの駆除について	<p>(1) 今年度4月～直近までの駆除数を伺う。</p> <p>(2) 9月議会で検討を約束した事項である。</p> <p>① 捕獲後の解体処理施設の設置及び、駆除報奨金の増額等の課題の検討は進んでいるか。</p>	
生島常範 議員	1 防災対策について	<p>(1) 11月は5日の「津波防災の日」や9日～15日の「秋季全国火災予防運動」等があり、本町早町地区においても火災、津波を想定した防災講演会や防災訓練が開催され防災意識を高める機会となった。同時に課題も見えてきた。</p> <p>① 「潮位計設置」について。今年3月議会において町長は「奄美群島でも一番東側にある本町に津波到着が一番早くなる事も考えられるので、気象庁に対して、潮位計（検潮所）の見直しの必要性を含めて市町村会の場合でも取り上げ、国へ要望したい」と答弁されたが進捗を伺う。</p> <p>② 「発電所の津波対策」について。6月議会に於いて町長は「事業所の努力でやっているので議論できないが、防災アドバイザーに防災対策への助言を求め周知することはする」と答弁された。防災アドバイザーの方からこの問題も含めた指摘は有ったか伺う。</p> <p>③ 「自主防災組織」について。3月議会の答弁で集落区長に組織図作成を依頼し、随時見直しを要請した。この機会に現状の体制でどういう組織が出来るのか我々も一緒に作り上げていく」との答弁だった。今年は何集落が作成済で町民が家庭で随時確認できるのか伺う。</p> <p>④ 「北部地域に避難所建設を」について。3月議会で米田議員の質問に対し「場所の確保も含め現状では難しい」との答弁だった。集落からも要望が有ったと伺ったが今後の対応を伺う。</p>	町長

令和4年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島常範 議員	1 防災対策について	<p>⑤ 「FMラジオ難聴問題」について。地震、津波、台風等で停電時も情報入手できるようにAM番組をFM電波で流しているが難聴地区がある。特に避難所になる場所等は事前調査をする等対策できないか伺う。</p> <p>⑥ 「海拔表示板」について。海拔5M以下を町民に周知するためゴミステーション近辺の電柱にも設置が必要と思うが見解を伺う。</p>	町長
	2 伝統文化保存・継承について	<p>(1) 本町開催の第19回大島地区生涯学習推進大会及び第22回文化祭が開催された。「地域が関わらないと子どもは帰ってこない」、「『他人事』とせず『自分事』に」、「1人の100歩より100人の一歩」等学び多い大会だった。「自分事」としての課題も見えてきた。</p> <p>① 八月踊りのDVD同様、シマ言葉をDVDに残す事も必要だという声も多い。文化財保護審議委員会、文化協会その他団体と連携して検討できないか伺う。</p> <p>② 「八月踊りの継承」について。瀬戸内町の八月踊りは小学生を含む老若男女による素晴らしい発表だった。「子ども達はカッコいいから踊っている」という。町内にも保存会活動をしているが、「カッコいい」と思ってもらえるよう工夫や取り組みを官民挙げて行う時期だと思うが見解を伺う。</p> <p>③ 事例発表、意見交換会はとても有意義で気づきが多かった。以前実施したように分科会で学び合うワークショップ（意見交換会）を本町の大会でも復活できないか伺う。</p> <p>④ 令和5年1月28日～29日、知名町で「危機的状況にある言語・方言サミット」が開催される。前回奄美大島大会に参加した職員の報告内容をどう生かしたか、更に危機意識を共有するため、今回オンライン参加が可能な場合、役場庁舎内で会場設定し、町民に参加を呼びかけられないか伺う。</p> <p>⑤ シマ言葉に親しみを持たせるために、喜界島の音文化を「防災・行政無線の音楽への採用」に対し、昨年12月議会で「いい事だと思うので教育委員会と連携して検討する」とのことだったが進捗を伺う。</p>	教育長